【議事録】

審議会等名　　令和５年度　第２回つくばみらい市男女共同参画推進委員会
●日　　時：令和５年９月２０日（水）午後２時～午後４時００分 ●場　　所：つくばみらい市役所伊奈庁舎３階　大会議室 ●出席委員：髙木玲子委員長、間宮正孝副委員長、川上佐知子委員、渋谷透委員、太田真由美委員 髙野幸江委員、根本志枝委員、村上昇委員 ●欠席委員：高田新二委員、人見実俊委員 ●事 務 局：市長公室　中村公室長 地域推進課　石引課長、柴山課長補佐、飯村主査、小倉主事 ●傍 聴 人：なし
●次第 1　開会 2　委嘱状の交付 3　副市長あいさつ 4　委員紹介 5　委員長及び副委員長の選任 6　委員長あいさつ 7　議事　（1）　つくばみらい市の男女共同参画について （2）　市男女共同参画計画に基づく令和３年度事業実施状況に対する意見書の進捗状況について （3）　市男女共同参画計画に基づく令和４年度事業実施状況に対する意見について （4）　市男女共同参画計画策定に係る意識調査等の結果について 8　その他 9　閉会
1　開会（午後２時００分） 2　委嘱状の交付 4　委員紹介 5　委員長及び副委員長の選任 6　委員長あいさつ 7　議事 ・委員長が議長となり以下の議事進行を行った。 （1）　つくばみらい市の男女共同参画について ・事務局より説明を行った。 【質疑・意見等】 なし

（２）　市男女共同参画計画に基づく令和３年度事業実施状況に対する意見書の進捗状況について

・事務局より説明を行った。

【質疑・意見等】

なし

（３）　市男女共同参画計画に基づく令和４年度事業実施状況に対する意見について

・議長が委員に市に提言する事業について審議を求めたところ、次の意見があった。

【質疑・意見等】

委員：　啓発活動で配布するポケットティッシュについて、具体的なアクションに繋がるようなことが書かれていた方がいいと思う。子どもが受け取り、家で一つでもお手伝いする、例えば、お皿洗いとか配膳とか、カーテンの開閉でも何でもいいので、それにより家事が少しでも楽になると思う。女性の家事時間を少しでも減らすために、子どもが手伝うのが当たり前という文化ができれば、男性も手伝うという文化ができるのではないかと思う。具体的に次のアクションをどうしたらいいのかわかる、ヒントになるものを配布し、ＰＲしていただきたい。

また、出前講座の対象を中学生だけではなく、小学生からに検討していただきたい。学校教育で英語を中学校から始め、何時間も勉強しているのに話せないのと同じように、中学生から男女共同参画を学んでも、それは男女共同参画ネイティブではない。幼稚園児や小学生から育成していったほうが、男女共同参画を推進する市としては適切ではないかと感じた。

委員：　子どもが生まれる前から、子どもに手伝わせるという考えではなく、それが人として当たり前の生活だということを親にアドバイスしていけば、各家庭は家事をスムーズに行えるのではないかと思う。そういう意味で「両親学級の実施」も推進していただきたい。

委員：　事業番号２「講演会・フォーラムの実施」について、こちらは、間違いなく継続したほうがいいと思う。男女共同参画の目標の中で、「人が変わる」、「組織が変わる」、「社会が変わる」という３つの目標あり、この中で、「人が変わる」がやはり変わっていかないといけないと思う。先ほど子どもの手伝いの話があったように、意識づけを継続していくと、今後その子どもが大きくなったとき、目標に近づいていくと思う。

講演会やフォーラムの費用と効果を考えると、非常に効果が高いと考えるので、講演会フォーラムは、是非続けていっていただきたい。

委員：　出前講座などの講演会は、対象は中学生がいいのか、小学生からがいいのか、検討が必要だと思う。以前、出前講座は、中学２年生で実施していた。自分らしく生きる、将来何になりたいという、今までの出前講座の内容は、小学生には少し早いと思う。意見書の希望として、今の出前講座に加え、小学生にも何かできないか、といった内容を入れていただきたい。

委員：　市が掲げる方針で、「あれも、これも本気の子育て」というのがあり、2021年にはコンビ株式会社とみらい平市民センターで出産を控えるプレママ、プレパパを対象としたセミナーイベントを実施したようだが、このような情報をおそらく市民は知らないと思う。また、私の想像以上に、市では様々な取り組みを行っていると知った。例えば、虐待のリスクが高いと思われる家庭に対して、月２回、子育て応援弁当を自宅に届けながら状況の確認を行っているなど、いろ

いろやっていると思った。意識調査の中で、子育てしやすい環境をつくって欲しいとあったが、市ではいろいろやっているのに知られていないのはもったいないので、子育て支援の内容をＰＲすることに力をいれていただけたらと思う。

委員：　事業番号 26「両親学級の実施」で、両親がともに子どもを育てていくという意識を持っていくことが大切だと思った。こども家庭庁も動き出したということで、市にも、ぜひ両親がともに子どもを育てていくというところを推し進めてもらいたいと改めて感じた。家庭の中で男性、女性という役割ではなく、子どもを育てていくということでの役割分担を、お互い分かち合える形になることが、本当は理想だと思うので、ぜひ意見書の中に取り入れてもらいたいと思う。

委員：　ファミリーサポートセンターはどれくらいの利用者がいるのか。利用者は毎年増えているのか。

事務局：　利用会員は 262 人で、前年度にと比べると 54 人増えてる。

委員：　制度利用には、費用がかかると思うが、例えば、５回までは無料などの割引チケットがあれば、気軽に利用する方が増えるきっかけに繋がるのではないかと思う。個人的には、子育ては女性がするものだ、という意見を持っている男性もいると思う。そういう方に、無料であれば一度使ってもいいんじゃないか、と思って欲しい。例えば、ファミリーサポートセンターで子どもの送迎をお願いしたくても、家族の協力がないと登録できない。制度を利用したい女性が多くいても、男女共同参画の意識がない男性もいると思うので、そういう方たちのためにも、ファミリーサポートセンター事業を充実させることが重要だと思う。

・上記審議のうえ、議長より市へ提言する意見書の内容について、以下のとおり提案・決定された。

【全員異議なし】

意見１　子どもや子育て世代への男女共同参画啓発活動について

意見２　性別役割分担意識の解消に向けたワーク・ライフ・バランスの促進について

意見３　子育てに関する情報の発信について

（４）　市男女共同参画計画策定に係る意識調査等の結果について

・意識調査等の結果について、事務局より説明した。

【質疑・意見等】

委員：　つくばみらい市で子連れ出勤を試験実施していたが、この取り組みに関するアンケート結果が気になる。

事務局：　市では、小学校の夏休み期間、子連れ出勤の実証実験をしていた。実証実験を夏に実施したことで、次回の冬休み期間に向けて精度を高め、他市にも参考にしてもらえればありがたいし、市内の民間事業所でもこのような取り組みが推進されていけばと感じている。子連れ出勤が継続してうまくいくようになったら、もっとアピールしていきたい。

８　その他

・第３回、第４回、第５回のつくばみらい市男女共同参画推進委員会の開催を以下のように決定した。

第３回委員会　令和５年１０月１７日（火）午後２時から

第４回委員会　令和５年１１月８日（水）午後２時から

第５回委員会　令和６年２月９日（金）午後２時から

９　閉会（午後４時００分）

●配布資料

・令和５年度第２回　つくばみらい市男女共同参画推進委員会　会議次第

・令和５年度第２回　つくばみらい市男女共同参画推進委員会　会議資料